



国土交通省

問い合わせ先

(所属) 自動車技術安全部

(担当) 整備課 宮下・松本

大阪運輸支局 竹内

(整備課) 06-6949-6453

(大阪運輸支局) 072-822-4374 (ガイダンスが流れたら「1」をプッシュ。)

タイヤ交換後にホイール・ナットの増し締めを徹底を！ ～大阪トラックステーションで点検を実施～

近畿運輸局では、大阪府トラック協会と大阪府自動車整備振興会と連携し、1月12日に大阪トラックステーションで「大型トラックのホイール・ナットの増し締め点検」を行いました。大型トラックと中型トラック合わせて13台に対してトルクレンチを用いて増し締め点検をした結果、**6台に緩みが確認されました**。緩みが確認された車両についてはトルクレンチを用いて**適正な締め付けトルク（締め付け力）で増し締め**を行いました。

～点検結果詳細～

- **13台中、大型トラック6台**でホイール・ナットの緩みが確認されました。
- **うち5台は左側車輪のナット**が緩んでいました。
- ナットの緩みが確認された車両の1台については、**左側車輪全てのナット（32個）に緩み**が確認されました。

交換直後が要注意！

タイヤを適切に交換しても走行中の**初期なじみ**により緩みが発生するおそれがあることから**タイヤ交換後50km～100km**走行後はトルクレンチを用いて増し締めの実施をお願いします

ホイール・ボルトやナットの劣化や損傷に注意！

車輪脱落事故が発生した車両を調査した結果、

- ・ホイール・ボルトやナットに著しいサビがあるもの
- ・ゴミ等の異物が付着しているもの、
- ・ホイール・ナットとワッシャのすき間に潤滑剤の塗布が見られずホイール・ナットがスムーズに回転しないものが確認されています。



(参考)

報道発表資料

○大型車のホイール・ナットの緊急点検を行います！

○大型車の適切なタイヤ脱着・保守管理作業解説動画を公開！

～ [国土交通省 \(http://www.mlit.go.jp\)](http://www.mlit.go.jp)

配布先

青灯クラブ

陸運記者会（トラック部会）

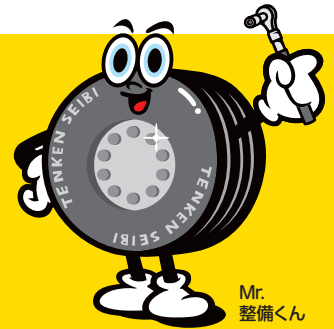
事業者、ドライバー、整備工場の皆さんの協力をお願いします。

「お・ち・な・い」の徹底で 防ごう、大型車の車輪脱落事故

お

とさない！
脱落防止はまず点検。

事前の正しい点検が大きな事故を未然に防ぐ
唯一かつ最善な手段です。



Mr. 整備くん

ち

ちゃんと清掃、
ちゃんと給脂！

- ボルト、ナットの錆や汚れを落とし、エンジンオイルなどを塗布してください。ナットをボルトの奥まで回転させたとき、ナットやワッシャーがスムーズに回転するか点検します。
- ワッシャーが固着していたりはずれかかっている場合は、ナットを交換してください。

ナットとワッシャーとの
隙間への注油も忘れずに！



な

(ナット)
ット締め、トルクレンチを必ず使用！

- 適正なトルクレンチを用いて規定のトルクで確実に締め付けます。



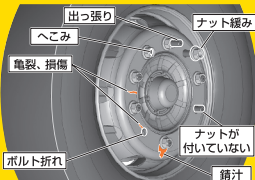
- 初期なじみのため、タイヤ交換後50~100km走行後を目安に増し締めを実施してください。



い

ちにち一回、緩みの点検！

- 運行前にボルト、ナットを目で見て手で触って点検。



- 特に脱落が多い左後輪は重点的に点検を。



正しい点検方法を
動画でチェック！



ホイールナットの緩みが一目でわかり、高精度な点検が誰でも手軽にできる「連結式ナット回転指示インジケーター」の使用方法も動画でご確認いただけます。



詳しくは、
こちらから！



国土交通省 自動車点検整備推進協議会 大型車の車輪脱落事故防止対策に係る調査・分析検討会 日本自動車工業会(いすゞ自動車 日野自動車 三菱ふそうトラック・バス UDTトラック) 全日本トラック協会 日本バス協会 全国自家用自動車協会 日本自動車整備振興会連合会 日本自動車販売協会連合会 全国タイヤ商工協同組合連合会 日本自動車タイヤ協会 全国石油商業組合連合会 日本自動車車体工業会 日本自動車輸入組合 日本自動車機械工具協会 日本自動車機械器具工業会 自動車用品小売業協会 日本自動車車体整備協同組合連合会



タイヤ交換などホイール脱着時の不適切な取り扱いによる 車輪脱落事故が発生しています!

タイヤ交換作業にあたっては、[車載の「取扱説明書」]や[本紙表面に記載の「車輪脱落を防ぐ4つのポイント」]、
[下記の「その他、ホイールナット締め付け時の注意点」]などを参照の上、正しい取り扱い(交換作業)をお願いします。

※ホイールナットの締め付けは、必ず「規定の締め付けトルク」で行ってください。
※ホイール取付方法には、JIS方式とISO方式の2種類があります。それぞれ正しい
取り扱い方法をご確認いただき、適切なタイヤ交換作業の実施をお願いします。

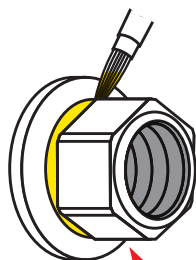
注意 ホイールナットの締め付け不足。アルミホイール、
スチールホイールの取り扱いミス (誤組み付け、部品の誤組み)

その他、ホイールナット締め付け時の注意点

ホイールボルト、ナットの 潤滑について

ISO方式

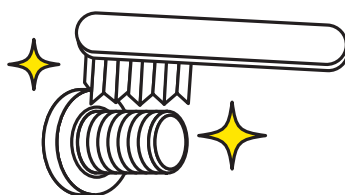
ホイールボルト、ナットのねじ部と、ナットとワッシャーとのすき間にエンジンオイルなど指定の潤滑剤を薄く塗布し、回転させて油をなじませます。ワッシャーがスムーズに回転するか点検し、スムーズに回転しない場合はナットを交換してください。ナットの座面(ディスクホイールとの当たり面)には塗布しないでください。



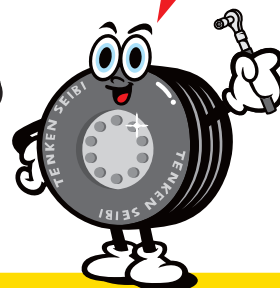
ナットとワッシャーとの隙間への注油を忘れずに!

ディスクホイール、ハブ、ホイールボルト、ナットの清掃について

ディスクホイール取付面、ホイールナット当たり面、ハブ取付面(ISO方式では、ハブのはめ合い部も)、ホイールボルト、ナットの錆やゴミ、泥、追加塗装などを取り除きます。



ホイールナット締め付け時の注意点だよ!



ホイール締め付け方式

ホイールの締め付け方式には、球面座で締め付けるJIS方式と、平面座で締め付けるISO方式があります。また「排出ガス規制・ポスト新長期規制適合」大型車から、左右輪・右ねじとする「新・ISO方式」を採用しました。

ISO方式(8穴、10穴)

ホイールサイズとボルト本数(PCD)	19.5インチ: 8本(PCD275mm) 22.5インチ: 10本(PCD335mm)	ホイールのセンタリング	ハブインロー
ボルトサイズねじの方向	M22 左右輪: 右ねじ(新・ISO方式) 右輪: 右ねじ 左輪: 左ねじ(従来ISO方式)	アルミホイールの履き替え	ボルト交換
ホイールナット使用ソケット	平面座(ワッシャー付き)・1種類 33mm(従来ISO方式の一部は32mm)	後輪ダブルタイヤの締め付け構造	
ダブルタイヤ	一つのナットで共締め		

